



目次

生産現場情報：	「白神ねぎ」の園芸メガ団地参画で高収益農業を目指す ～農事組合法人 轟ネオファーム～	P 1～3
営農支援情報：	水稻種子予措のポイント	P 4～5
ご 紹 介：	秋田県産花きを使用したモニュメントを展示～ひと足早い春をお届け J A 秋田おばこ「全農WE B 受発注センターシステム」操作研修会開催 「秋田ノーザンハピネッツ vs ファイティングイーグルス名古屋」戦で秋田米 新品種「サキホコレ」を来場者へプレゼントしました！ 令和4年産「秋田米ご愛顧感謝キャンペーン」実施中！	P 6 P 7 P 8 P 9
お知らせ：	「ミス・フレッシュ秋田」募集	P 10

「白神ねぎ」の園芸メガ団地参画で高収益農業を目指す ～農事組合法人 轟ネオファーム～

1. 法人設立の経緯

農事組合法人 轟ネオファームは、白神山地の玄関口で知られる能代市の米代川流域に展開する「園芸メガ団地」の一画で、団地を構成する仲間と一緒に「白神ねぎ」を栽培し、高収益農業を目指しています。

当法人がねぎの大規模化に取り組むキッカケとなったのは、ＪＡあきた白神が進めていた「白神ねぎ１０億円販売達成プロジェクト」と、県や市、ＪＡが一体となっていた「園芸メガ団地」の県内最初の団地整備計画でした。法人の高橋代表は、５０歳代中ごろまで会社勤めをしながら農業に従事していましたが、地区の基盤整備事業実施の話が進む中で、地域の土地を守るため本格的に専業で農業に従事することを決意し、将来を見据えて会社方式で農業を営むため農事組合法人を立ち上げスタートしました。

この団地全体の目標販売額一億円は、関係機関と生産者メンバーが一体となった努力により栽培一年目で達成することができました。

設 立：平成２２年３月２５日

役 員：代表理事 高橋 裕、理事２名、常務１名（代表の息子さん）

従業員：６名、 臨時雇用：１０名（ねぎの収穫・出荷・調製期間）

所在地：秋田県能代市轟

経営規模：

ねぎ ６．４ ｈａ

（園芸メガ団地に参画）

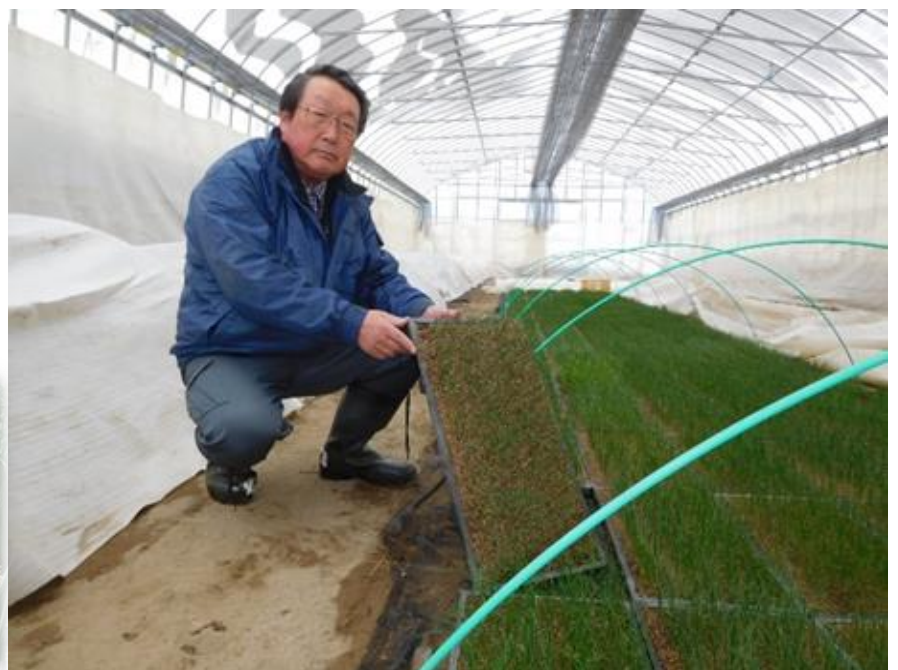
ウド １．０ ｈａ（根株養成畑）

大豆 ２．９ ｈａ

水稻 １．０ ｈａ



きれいに生育が揃ったねぎ圃場



ねぎ越冬大苗の生育状況を確認する高橋代表

2. 経営の特色

ねぎの作付面積は当初2haでしたが、令和4年は、6.4haと園芸メガ団地への参画を契機に大きく拡大しました。また、ねぎの出荷が終わる晩秋から冬期に出荷できるウドの栽培にも取り組み、経営の安定化に努めています。

収穫したねぎはすべてJAあきた白神に出荷して、地域ブランドである「白神ねぎ」として有利販売に結びついています。

高橋代表は、これから農業を目指す若い人が「儲かる農業」を実現できるように法人内で人材育成を行っています。将来独立して就農を希望する人を積極的に雇用し、従業員には2年で独り立ち出来るよう栽培技術等を教えています。これまで2人の独立就農者を育成しました。

また、当法人はJAあきた白神が事務局を務める「白神ねぎ部会」GAP研究会」の団体認証構成メンバーとしてGAPに取り組んでいて、生産履歴の記帳から食品の安全、さらに環境保全や労働安全も含めたねぎ生産全体の生産工程管理を実践し、安全・安心な農産物の生産と農業経営の改善に努めています。高橋代表は、「会社員時代にISOに取り組んでいたので導入は比較的スムーズだった。」と話し、「農作業は大変なことが多く、GAPの考えを取り入れて常に工夫して、時間が掛かり過ぎることや難儀な作業を改善していかないと効率化が図られない。」と話していました。



ねぎの調整・出荷作業期間中は毎日が大忙し

収穫したねぎの根、葉を切り、皮を剥く作業中



3. 今後に向けて

高橋代表に今後の目標を尋ねると、「白神ねぎの反収向上と品質アップを追求していきたい」と話してくれました。反収向上のために従業員全員で話し合う機会を常に作り、話し合いの中から向上に繋がるポイントを全員が情報共有し実践しています。特にねぎの育苗には気を配り、発芽率向上と健苗育成が、その後の本畑での生育と収量に大きく影響することから毎年育苗技術を確認し、研究しながら高みを目指しています。

品質アップについては、直接単価に影響するので調製作業の仕方と効率化について全員で話し合いながら進めています。

また、高橋代表は「今後の農業法人の在り方は、法人連携が重要になる」と話しています。これまで設立されてきた法人では広域的な地域全体の農業を守ることや、従業員の雇用確保が難しくなっていて、作業の内容や作目の違いを考慮した法人同士の連携による雇用調整を図ることなどが必要でないかと語ってくれました。

さらに、「農地の有効活用が図られ、これからも継続できる農業であって欲しい」、「若い人が残ってくれる農業であって欲しい」とも強く話してくれた高橋代表は、これからも地域農業の牽引者として先頭に立ち続けます。



団地の構成メンバーが調製作業を行う作業棟

水稻種子予措のポイント

～令和5年産の稲づくりの作業がまもなくスタート～

気象庁が発表した3か月予報（令和5年2月21日発表）では、「寒気の影響を受けにくいため、向こう3か月の平均気温は高いでしょう。3月の気温は高く、4月と5月の気温は平年並みか高い見込みです」としています。

そのため、春作業は早まることが予想されますが、種子予措を行うこの時期の気温はまだ低く、日中の気温が高くても、朝夕の気温が急激に低下する日もあります。このように低温にあたった場合、休眠が深まり出芽しにくくなり、種子消毒剤効果が低下することがありますので、以下のとおり十分に注意してください。

種子予措は、健全で充実した種子を選別することから始まります。

◆塩水選◆

塩水選（比重選）で軽い種子を除くことにより発芽が揃い、その後の生育も優れます。塩水選は、食塩または硫酸で正確な比重液（うるち米は1.13、もち米は1.08）で行ってください。ただし、種子消毒剤吹き付け・塗抹済み種子は消毒剤が溶出するので塩水選は行わないでください。

◆種子消毒◆

種子消毒は種子伝染性の、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病、褐条病、ばか苗病、いもち病などを対象に行います。

また、無消毒種子を購入した場合は、種子伝染性の発生等を防ぐため、必ず「テクリードCフロアブル」等の薬剤で種子消毒を行ってください。温湯消毒は、生物農薬「タフブロック」等と組み合わせると、防除効果が向上します。

特に種子伝染性病害（ばか苗病等）を防ぐため、自家採種は行わず、**採種は産種子を使用**してください。



◆浸種◆

種子の発芽を揃えるために、発芽に必要な水分を吸収させるとともに種子に含まれる発芽阻害物質を溶出させ取り除く作業です。

浸種の適水温は10～15℃で、10℃以下の低温で浸種すると、休眠が逆に深まる場合があります。一方で、14℃で8日間以上浸種すると浸種期間中に発芽が開始することがあるので注意してください。また、種子消毒剤の効果を高めるためにも、**浸種温度は10℃以下にならないように**気をつけてください。

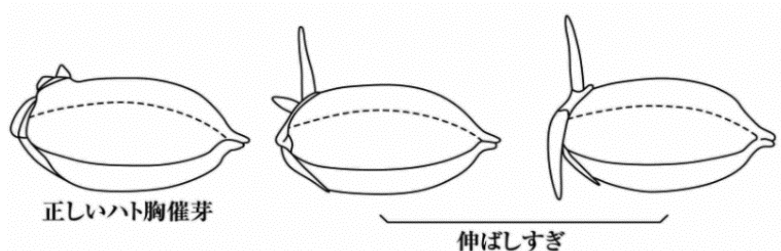
浸種に使う容器は、種子量に対し大きめのものを使用してください。**種子1kgに対し水3.5リットルが目安**で、底の浅い平底型の容器の方が温度ムラは少なくなります。発芽に必要な吸水量は、乾籾重の25%前後であり、**浸種期間は水温10℃で6～8日、14℃では6日間程度**とします。種子消毒剤の効果を高めるため、**浸種期間中の水交換は2～3回**とします。浸種収量の目安は、**籾殻を透かして胚が白く**見えるようになったら浸種を終わらせてください。

◆催芽◆

催芽は、発芽の種子間差を小さくし、**均一に発芽させるために30～32℃**で行ってください。あらかじめ**36～40℃の温度で湯通し**を行い、**種子袋の内部まで温度が均一**になるようにしてください。

催芽中は、水分を切らさないようにし、**芽の長さはハト胸程度**とします。

発芽速度は品種によって異なり、同一品種の種子であっても年により休眠性に差があるため発芽速度が異なります。また、催芽作業の時期によっても異なりますので、発芽程度（芽の長さや芽切れの揃い）を十分観察して催芽を終了してください。



もみ枯細菌病に注意！

近年「**もみ枯細菌病**」が散見されています。①出芽温度は32℃を超えないようする、②被覆期間を過剰に長くしないようにする、③出芽後の再被覆はおこなわない、④緑化期以降は25℃以上にならないようにすることに注意してください。



秋田県産花きを使用したモニュメントを展示～ひと足早い春をお届け

秋田県内の生花店で組織する花卉小売商業協同組合青年部（花 a c t あきた）は2月2日～13日まで、買い物に訪れる人にひと足早い春を感じてもらおうと、秋田市の西武秋田店に色とりどりの花きを使用したモニュメント「立春」を設置しました。



多くの方に花に触れてもらうことでこれから迎える様々な門出に彩りを添え、家族や友人へ花を贈って祝う気持ちや、自宅や職場に花を飾る素晴らしさをアピールするとともに、県産花きの需要喚起にもつなげようという思いが込められています。県産のランキュラスや啓翁桜のほか、スイートピーやバラなど11種類1800本の花きで作られた高さ2.4 ㍎、幅1.9 ㍎のモニュメント。あきた園芸戦略対策協議会（事務局：J A全農あきた）が花材の一部を提供しました。

ＪＡ秋田おばこ「全農WEB受発注センターシステム」

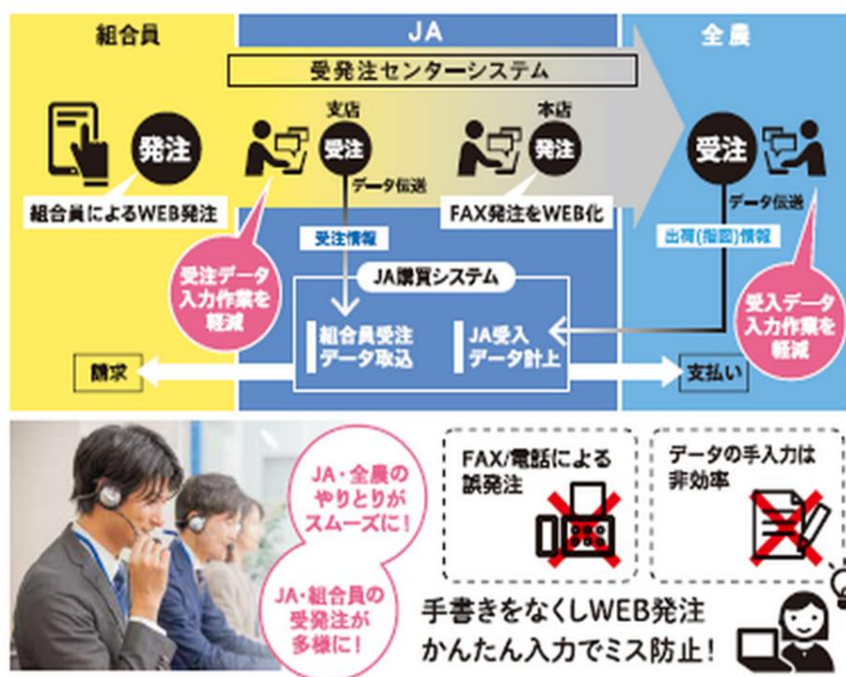
操作研修会開催

ＪＡ全農あきたは１月１９日、ＪＡ秋田おばこ本店で実務担当者向けの「全農WEB受発注センターシステム」操作研修会を開催し、ＪＡ秋田おばこやＪＡ全農あきたの関係者ら１７名が参加しました。



「全農WEB受発注センターシステム」は、「農家組合員⇒ＪＡ⇒全農⇒メーカー」への肥料・農薬の受発注業務をWEB化し、データ連動を行うシステムです。システムの構築により事務の効率化をすすめるとともに、ＪＡ職員が農家組合員へ出向き商品情報を提供、受発注業務を行うことで農家組合員との接点強化を図ることを目的としています。

受発注業務のWEBによる流れ



研修会では、「全農WEB受発注センターシステム」の概要や発注の流れを説明した後、テスト環境を使用してログイン方法や業務メニューの紹介、登録・発注の操作方法を中心に実際に端末操作を行いました。参加者からは「システムで過去の発注データなどの履歴や、現在の発注状況を画面で確認できてよい」との意見のほか、機能についての要望もあげられました。

今後、ＪＡ秋田おばこにおいては、まずはＪＡ・全農間でのデータ連動を行い、農家組合員からの受注機能導入に向けて作業をすすめます。

今後も県内ＪＡへの普及拡大につとめていきます。

「秋田ノーザンハピネッツ vs ファイティングイーグルス名古屋」戦で 秋田米新品種「サキホコレ」を来場者へプレゼントしました！

ＪＡ全農あきたは２月４日、愛知県名古屋市の名古屋市枇杷島スポーツセンターで行われたバスケットボール男子Ｂリーグ１部「秋田ノーザンハピネッツ v s ファイティングイーグルス名古屋」戦の会場で「サキホコレ」小袋（３００ｇ）を来場者先着１，０００名にプレゼントしました。

ＪＡ全農あきたと秋田ノーザンハピネッツは、ＪＡ秋田おばこ、大曲農業高等学校とともに「ＨＡＰＰＹ ＴＯＧＥＴＨＥＲ ＯＮＥ」プロジェクトと題して「サキホコレ」の農作業体験を行っており、令和４年１２月には秋田ノーザンハピネッツへ収穫したサキホコレ１５０㌔を贈呈しています。また、おすそわけ企画として秋田ノーザンハピネッツブースターや県内外の消費者へ「サキホコレ」をプレゼントし、ＰＲしています。



当日は、ＪＡ全農あきたとＪＡ秋田おばこの職員、ＪＡグループ「秋田米新品種サキホコレ研究会」の佐々木竜孝会長のほか、ナマハゲが参加し、入場口で「秋田の新しいお米です」「秋田から『サキホコレ』持ってきたので、ぜひ食べてください」と紹介しながら配布しました。ＳＮＳの事前告知を見てたのしみにしていた来場者も多く見られ、「サキホコレ、買えなかったからやっと食べられる」「サキホコレもらえてうれしい」と喜んでもらいました。



令和4年産「秋田米ご愛顧感謝キャンペーン」実施中！

ＪＡグループ秋田・ＪＡ全農あきたでは、令和4年産「秋田米ご愛顧✧感謝✧キャンペーン」を実施中です！！

ごはんが、おいしければ、しあわせです。 秋田米ご愛顧感謝キャンペーン

《応募締切》2023年3月31日(当日消印有効)

秋田ブランド肉 BBQセット100名様



※画像はイメージです。野菜等は付属しません。

◆秋田牛、桃豚、比内地鶏串セット
合計1.1kg

Wチャンス

JAタウンギフトカード
¥5,000分を50名様

全国の農畜産物・名産品を
お取り寄せ！



全農が運営する産地直送通販
「JAタウン」でご利用いただけます。

応募方法

対象の秋田米に貼付の応募券1口（半口シールは2枚）を郵便はがきに貼り、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・購入店舗名・秋田米に対するご意見ご感想をご記入の上ご応募ください。お一人様何口でもご応募できます。（はがき1枚につき1口）

宛 先

〒010-1633秋田県秋田市新屋鳥木町1-4 1

(株)全農ビジネスサポート秋田支店「秋田米ご愛顧感謝キャンペーン」係

当選発表

厳正なる抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ご応募いただいた個人情報はキャンペーンに関する目的以外では使用しません。

●お問い合わせ／秋田米キャンペーン事務局
フリーダイヤル0120-050-798

受付時間/9:00～17:00
※土・日・祝日を除く


秋田の青果物 愛菜果
 第34代 秋田県産青果物 キャンペーンガール募集
ミス・フレッシュ秋田
 フレッシュなあなたの笑顔を秋田のため、そして全国に!!



《募集要項および審査要項》 **入選者には15万円商品券プレゼント!**

【応募資格】①満18歳以上の未婚の女性(高校生を除く)

②秋田県内在住者(本籍、職業は問いません)

③県内外でのキャンペーン、イベントに従事できる方

※ミス〇〇、キャンペーンガール、イベントコンパニオン、等の任期が重複する方は応募できません。

④2次審査、委嘱状交付式へ出席可能な方

【応募方法】市販の履歴書用紙に必要事項と「身長」を記入の上、3ヵ月以内に撮影した鮮明なカラー写真2枚(全身、上半身各1枚、12cm×8cm程度のもの)を添付し、郵送または持参して下さい。JA全農あきたのホームページの専用フォームからも応募可能です。

<https://form.ja-group.or.jp/ja0243/apply>

【任 期】令和5年6月1日～1年間

【応募期間】令和5年2月21日(火)～4月20日(木) 必着

【募集人員】2名

【応募先】〒010-8558 秋田市八橋南二丁目10番16号 秋田県JAビル

JA全農あきた園芸畜産部園芸課内

『キャンペーンガール募集係』宛 TEL.018-864-2495

【審査方法】①1次審査:書類審査

②2次審査:面接審査

日 時:令和5年5月12日(金) 10:00～(予定)

場 所:秋田県JAビル

※結果は書面での通知のほか、1次および2次審査の通過者には電話連絡を行います。

【交 付 式】日 時:令和5年5月30日(火) 11:00～

場 所:秋田市内(予定)

【賞 品】①正 賞:記念楯

②副 賞:15万円商品券

県内産くだもの(年2回)

【キャンペーンガールの任務】

秋田県産青果物の販売促進を図るため、県内・首都圏・関西等での県産青果物の宣伝即売等に関する行事やキャンペーンに従事する。(日当として、8,000円支給します。)

【注】1次審査の合格者に対しては、面接審査に際して自費で自らの服装を準備して参ります。
【注】応募者からご提供いただいた個人情報は、選考や選定結果の連絡等(メール・プレッシャー等は関係ありません)にのみ利用させていただきます。

応募フォーム

↓↓↓



澄んだ空気と緑の大地が父と母です。 **あきた園芸戦略対策協議会 TEL.018-864-2495**

Za・あぐりふおーむ
Zennoh-akita agriculture+reform

JA全農あきた営農情報誌 **Za・あぐりふおーむ**
第37号 令和5年3月6日発行

編集・発行 JA全農あきた営農支援部営農支援課 〒010-8558秋田市八橋南二丁目10番16号 018-864-2462